



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社イボキン 上場取引所 東
 コード番号 5699 URL <https://www.ibokin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 克実
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 吉田 朋子 TEL 0791 (72) 5088
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|-------|-----|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年12月期第3四半期 | 6,132 | 0.4 | 380 | 26.0 | 391 | 16.9 | 256 | 14.9 |
| 2022年12月期第3四半期 | 6,107 | 0.4 | 302 | △52.5 | 334 | △49.0 | 222 | △47.0 |

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 222百万円 (2.7%) 2022年12月期第3四半期 216百万円 (△60.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期第3四半期 | 77.16 | — |
| 2022年12月期第3四半期 | 66.06 | — |

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年12月期第3四半期 | 5,443 | 3,904 | 71.7 |
| 2022年12月期 | 5,322 | 3,806 | 71.5 |

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 3,904百万円 2022年12月期 3,806百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | — | 0.00 | — | 22.50 | 22.50 |
| 2023年12月期 | — | 0.00 | — | | |
| 2023年12月期（予想） | | | | 27.50 | 27.50 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2023年12月期（予想）の期末配当金には、記念配当5円00銭を含んでおります。

配当予想の修正については、本日（2023年11月14日）公表いたしました「配当予想の修正（創立50周年記念配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-----|------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 7,664 | △3.7 | 529 | 8.9 | 544 | 3.6 | 349 | 0.7 | 105.06 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|-------------|------------|-------------|------------|
| 2023年12月期3Q | 3,427,200株 | 2022年12月期 | 3,427,200株 |
| 2023年12月期3Q | 117,092株 | 2022年12月期 | 79,292株 |
| 2023年12月期3Q | 3,320,149株 | 2022年12月期3Q | 3,374,736株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料については、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (セグメント情報) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、設備投資、生産、個人消費等の各面で経済活動がコロナ前の状態に向けた緩やかな持ち直しが見られる一方、ポストコロナの新しい産業構造にシフトする動きも一部見て取れる状況にあります。また、世界的な金融引き締めにもなう円安、高水準で推移する資源価格、ロシア・ウクライナ情勢の長期化の影響等、依然として先行き不透明な状況が続いています。当第3四半期連結累計期間における鉄スクラップ等の資源価格は前年同期に比べ概ね横這いで推移し、期間内の平均価格は前年同期を下回りました。

このような経済情勢の下、当社グループは、解体・環境・金属の各事業が総合的にニーズを探り出し、解体工事や設備撤去、スクラップの買取り、産業廃棄物収集運搬・中間処理を経て素材メーカー等に再生資源を提供する「ワンストップ・サービス」をさらに推進させております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,132,803千円(前年同期比0.4%増)、営業利益は380,862千円(同26.0%増)、経常利益は391,556千円(同16.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は256,185千円(同14.9%増)となりました。

各セグメント別の状況は下記のとおりです。

<解体事業>

解体工事については、完工件数は160件と前年同期と同水準になりました。大型案件については完工数は減少しましたが、進行中の大型案件が寄与し、増収増益となりました。

これらの結果、売上高は1,461,104千円(前年同期比50.8%増)、営業利益は149,425千円(前年同期は4,520千円)となりました。受注残高については、工事の進行度に応じてすでに売上計上された部分を除き1,381,432千円となりました。

<環境事業>

産業廃棄物処理受託の取扱量は16,911トン、再生資源販売の取扱量は11,163トンと堅調に推移しました。当第3四半期連結累計期間においては資源価格が前年同期を下回ったものの、高付加価値案件があったことで前年同期並みとなりました。

これらの結果、売上高は1,278,435千円(前年同期比1.5%減)、営業利益は134,898千円(同25.2%増)となりました。

<金属事業>

当社近隣の経済活動が伸び悩んだことから、当社工場でのスクラップの取扱量は40,968トンと軟調に推移しましたが、解体事業における解体案件が全国で展開されたことから、それぞれの地域の取引先に出荷するスクラップの取扱量が伸長しました。スクラップ等の相場については、平均単価で前年同期を下回りました。

これらの結果、売上高は3,393,263千円(前年同期比11.6%減)、営業利益は96,538千円(同49.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,443,474千円となり、前連結会計年度末に比べて121,259千円増加しました。流動資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べて143,093千円減少の2,766,984千円となりました。固定資産は、機械装置及び運搬具の増加等により、前連結会計年度末に比べて264,353千円増加の2,676,489千円となりました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,539,409千円となり、前連結会計年度末に比べて24,110千円増加しました。流動負債は、工事未払金の増加等により、前連結会計年度末に比べて38,764千円増加の1,118,129千円となりました。固定負債は、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べて14,653千円減少の421,280千円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて97,148千円増加し、3,904,065千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月14日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|----------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,890,779 | 1,759,650 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 818,010 | 832,775 |
| 商品及び製品 | 2,872 | 2,782 |
| 仕掛品 | 7,566 | 8,455 |
| 原材料及び貯蔵品 | 105,804 | 108,642 |
| 未成工事支出金 | 26,786 | 17,560 |
| その他 | 58,362 | 37,280 |
| 貸倒引当金 | △104 | △163 |
| 流動資産合計 | 2,910,078 | 2,766,984 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 (純額) | 281,682 | 358,821 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 514,001 | 696,670 |
| 最終処分場 (純額) | 68,234 | 68,019 |
| 土地 | 856,650 | 869,768 |
| リース資産 (純額) | 128,377 | 113,521 |
| 建設仮勘定 | 2,835 | 18,744 |
| その他 | 29,423 | 56,147 |
| 有形固定資産合計 | 1,881,204 | 2,181,694 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 37,558 | 35,026 |
| 無形固定資産合計 | 37,558 | 35,026 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 370,158 | 312,814 |
| 保険積立金 | 104,478 | 108,544 |
| 繰延税金資産 | — | 3,071 |
| その他 | 18,737 | 35,337 |
| 投資その他の資産合計 | 493,374 | 459,769 |
| 固定資産合計 | 2,412,136 | 2,676,489 |
| 資産合計 | 5,322,215 | 5,443,474 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 335,706 | 387,743 |
| 工事未払金 | 56,435 | 152,781 |
| 短期借入金 | 100,000 | 100,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 167,785 | 135,044 |
| リース債務 | 37,442 | 27,785 |
| 未払金 | 80,717 | 61,172 |
| 未払法人税等 | 70,009 | 42,216 |
| 契約負債 | 31,561 | 2,517 |
| 賞与引当金 | 15,859 | 56,073 |
| その他 | 183,849 | 152,794 |
| 流動負債合計 | 1,079,364 | 1,118,129 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 34,534 | 15,250 |
| リース債務 | 54,611 | 57,968 |
| 役員退職慰労引当金 | 289,097 | 304,893 |
| 退職給付に係る負債 | 13,792 | 12,005 |
| 繰延税金負債 | 14,393 | 2,362 |
| 資産除去債務 | 29,505 | 28,800 |
| 固定負債合計 | 435,934 | 421,280 |
| 負債合計 | 1,515,298 | 1,539,409 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 130,598 | 130,598 |
| 資本剰余金 | 945,418 | 945,418 |
| 利益剰余金 | 2,771,002 | 2,951,859 |
| 自己株式 | △110,240 | △160,193 |
| 株主資本合計 | 3,736,778 | 3,867,682 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 70,138 | 36,382 |
| その他の包括利益累計額合計 | 70,138 | 36,382 |
| 純資産合計 | 3,806,916 | 3,904,065 |
| 負債純資産合計 | 5,322,215 | 5,443,474 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 6,107,250 | 6,132,803 |
| 売上原価 | 5,153,139 | 5,079,040 |
| 売上総利益 | 954,111 | 1,053,763 |
| 販売費及び一般管理費 | 651,784 | 672,900 |
| 営業利益 | 302,326 | 380,862 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 45 | 48 |
| 受取配当金 | 5,851 | 4,846 |
| 受取手数料 | 3,187 | 3,223 |
| 受取保険金 | 18,576 | — |
| その他 | 9,692 | 5,746 |
| 営業外収益合計 | 37,353 | 13,865 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,651 | 2,680 |
| その他 | 1,211 | 490 |
| 営業外費用合計 | 4,863 | 3,171 |
| 経常利益 | 334,816 | 391,556 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 6,155 | 1,874 |
| 特別利益合計 | 6,155 | 1,874 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 743 | 1,706 |
| 投資有価証券償還損 | — | 1,874 |
| 特別損失合計 | 743 | 3,580 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 340,228 | 389,850 |
| 法人税等 | 117,292 | 133,665 |
| 四半期純利益 | 222,936 | 256,185 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 222,936 | 256,185 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 222,936 | 256,185 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △6,357 | △33,755 |
| その他の包括利益合計 | △6,357 | △33,755 |
| 四半期包括利益 | 216,578 | 222,429 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 216,578 | 222,429 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額 (注1) |
|----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|--------------------|
| | 解体事業 | 環境事業 | 金属事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 一時点で移転される財・サービス | 493,066 | 1,297,791 | 3,840,499 | 5,631,357 | — | 5,631,357 |
| 一定の期間にわたり移転される財・サービス | 475,892 | — | — | 475,892 | — | 475,892 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 968,959 | 1,297,791 | 3,840,499 | 6,107,250 | — | 6,107,250 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 968,959 | 1,297,791 | 3,840,499 | 6,107,250 | — | 6,107,250 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 144,911 | 236,767 | 29,916 | 411,594 | △411,594 | — |
| 計 | 1,113,870 | 1,534,558 | 3,870,416 | 6,518,845 | △411,594 | 6,107,250 |
| セグメント利益 | 4,520 | 107,775 | 190,030 | 302,326 | — | 302,326 |

(注) 1. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約については、一時点で移転される財・サービスに含めています。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額 (注1) |
|----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|--------------------|
| | 解体事業 | 環境事業 | 金属事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 一時点で移転される財・サービス | 603,140 | 1,278,435 | 3,393,263 | 5,274,839 | — | 5,274,839 |
| 一定の期間にわたり移転される財・サービス | 857,963 | — | — | 857,963 | — | 857,963 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,461,104 | 1,278,435 | 3,393,263 | 6,132,803 | — | 6,132,803 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 1,461,104 | 1,278,435 | 3,393,263 | 6,132,803 | — | 6,132,803 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 442,204 | 256,999 | 31,162 | 730,366 | △730,366 | — |
| 計 | 1,903,309 | 1,535,435 | 3,424,425 | 6,863,170 | △730,366 | 6,132,803 |
| セグメント利益 | 149,425 | 134,898 | 96,538 | 380,862 | — | 380,862 |

(注) 1. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約については、一時点で移転される財・サービスに含めています。